

特集

地域・若者・行政の協働で実現する農山村の活性化

信太地区振興協議会の取組み



「信太らしさ」を議論する際、いつも話題に上がるのが、柿の葉寿司やしめ縄、草履つくりなどの農山村文化です。信太の存続の為には、信太の魅力に共感し、共に地域を守りたいという仲間を増やしたいと考えています。

目的は信太地区の存続
テーマは農山村文化の継承と発展

信太地区は人口約700人、高齢化率約50%と、橋本市内で最も少子高齢化が進んでいます。平成31年には信太小学校が閉校、地区全体行事の減少や高齢・過疎化が進むとともに、遊休施設や耕作放棄地の活用が課題でした。

そこで、令和3年10月に信太地区住民と橋本市の協働による地域活性化プロジェクトとして信太地区振興協議会が発足しました。企画や実働部隊として、20〜50代で構成する「魅力アップ部会」を立ち上げ、月1回の会合を中心に、取組みを進めています。

信太地区振興協議会発足の背景

信太地区とは橋本市の北西部に位置し、高野口町にある九重、上中、下中、田原、嵯峨谷、竹尾、西川の7つの集落からなる地区です。今回は、信太地区での農村振興の取組みについて紹介します。

【農林振興課】

活性化に関わる人の声



信太地区振興協議会
会長
中芝道雄さん

地域に恩返しをしたくて参加しています。若手が頑張ろうという機運があるのが正念場と感じています。視察に行った徳島県上勝町では、みんなが失敗してもへこたれず真剣にやっていました。私たちも失敗を怖がらず、若手も「おじん」も「おばん」も一緒になって取組みたいです。



信太地区 区長会長
木村佳弘さん

協議会の活動が地元にも浸透してきました。移住者と一緒に活動することで、信太の「ごく普通」のことが魅力として再発見できました。地元の文化資源を保護しながら、持続可能な発展のために、各所と協働・連携して取組みを進めたいです。



はしっこバスが新しくなります！

橋本市コミュニティバス（愛称：はしっこバス）について、1月6日(月)から順次新車への入替えを行います。はしぼうとオムピッピをあしらったかわいらしいバスです。ぜひ、ご利用ください。



目次

— CONTENTS —

2 新年のごあいさつ

5 特集
信太地区振興協議会

8 特集
きらり vol.69

12 特集
はぐくむ委員募集

13 情報ワイド
▶窓口業務の一部民間委託
▶Hashi-Moの購入上限引上げ
▶橋本市消防出初式
▶橋本マラソンの交通規制 など

16 情報ひろば

24 タウン情報

25 子育てぱーく

26 本のひろば

27 健康カレンダー

28 フォトピックス

今月の表紙



香久の実保育園の園児らが市内の畑でサツマイモの収穫を体験している様子です。